（様式1）

**日本医療研究開発機構　先端国際共同研究推進プログラム（ASPIRE）**

**（第６回）日・カナダ共同研究公募　日本側補足応募様式**

**※e-RadおよびCIHRに提出する内容と齟齬のないよう記載してください。**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究開発課題名  （英語表記） | | | 日本語表記 | ○○に関する研究開発 |
| 英語表記 | Study of ○○ |
| 公募名（事業名） | | | | 先端国際共同研究推進プログラム（ASPIRE）  （第６回）日・カナダ共同研究公募 |
| 研究開発期間（全研究期間） | | | | 令和XX年 X月 X日 ～ 令和 XX年 X月XX日（X年間） |
| 研究費総額 | | | | 全研究期間での研究費総額（　X0.000千円）※直接経費 |
| ヒト全ゲノムシークエンス解析 | | | | □実施する 　　□実施しない  ※いずれかに☑。実施する場合、ヒト全ゲノムシークエンス解析プロトコール様式を提出。 |
| 研究開発代表者 | 氏　名 | フリガナ | | ○○○○　○○○○ |
| 漢　字 | | ○○　　　○○ |
| ローマ字表記 | | Yyyy Yyyyyy |
| 性　別 | | | 男☐　女☐　その他☐　回答したくない☐ |
| 生年月（年齢） | | | 19XX年XX月（XX歳：令和7年4月1日時点） |
| 所属機関（正式名称） | | | ○○法人○○大学 |
| 所属部署（部局） | | | ○○学部○○学科 |
| 役　職 | | | ○○ |
| 研究開発代表者の情報 | | | <https://www>.・・・・・・ |
| 研究開発代表者の研究歴  （主な職歴と研究内容） | | | |  |

注 提出する際には、青文字の記載例と緑色吹き出しの説明文を削除してください。

# １．国際共同研究提案の概要（日本語・英語）

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

■本国際共同研究提案の概要を日本語・英語それぞれA4縦１ページ以内で、以下の内容を含めて記載してください。

・背景（今の状況がどのようで、何が求められているのか）

・目的（背景を受け、本共同研究を実施する目的）

・実施内容（どのような方法を用いて、どのように実施し問題を解決するか）

・期待される成果（達成目標）

・国際頭脳循環の促進について

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

# ２．国際共同研究提案の目的および実施内容（日本語）

■10.5ポイント以上の文字等を使用して、本説明文を除き６ページを目処に記載してください。

■「4. 研究業績」の記載内容を適切に引用し、申請者自身の業績と国際共同研究提案との関係を明確にしてください。

■国際共同研究の背景（重要性・必要性）、申請者の実績（事実）、国際共同研究提案それぞれを明確に区別してください。

■必要に応じ図表を挿入するなどして、分かりやすく記載してください。

※この項目は、以下の観点で評価します。

○事業趣旨等との整合性（我が国の科学技術力の維持・向上に繋がるようなトップ水準の国際共同研究であるか/目標とする国際的なトップ研究コミュニティが明確に設定されており、事業趣旨に合致するものであるか/これまでの国際頭脳循環等を通した次世代研究者等の育成実績を踏まえて、適切な育成目標が設定されているか）

○国際共同研究・頭脳循環における意義及び優位性（社会的ニーズに対応するものであるか/医療分野の研究開発に関する国の方針に合致するものであるか/医療分野の研究開発の進展に資するものであるか/国際的に高い評価を得る研究成果の創出が期待できるか/提案内容は健康・医療分野において高い水準のものであり、相手国側研究チームと国際共同研究を実施することによる相乗効果が期待できるか）

○事業で定める項目（研究開発終了後もトップ水準の国際共同研究が継続し、我が国の科学技術力の維持・向上が期待できるか/研究開発終了後も国際的なネットワークとして継続・拡大することが期待できるか/研究開発終了後もトップ研究コミュニティにおいて人材育成の継続が期待できるか）

(1) 国際共同研究の背景

本国際共同研究の重要性・必要性が明らかとなるよう、科学技術上の要請、社会的要請及び、当該分野や関連分野の動向等を適宜含めて記載してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

(2) 国際共同研究の目的・ねらい

本国際共同研究の目的やねらいを国際頭脳循環の促進を含めて具体的に記載してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

(3) 国際共同研究の実施内容及び期待される成果

国際共同研究について、実施内容及び期待される成果（達成目標）をそれぞれ具体的に記載してください。また、相手国側研究者が相手国にて実施する研究と日本で実施する研究との関係についても説明してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

(4) 国際頭脳循環の実施内容及び期待される成果

国際頭脳循環について、実施内容及び期待される成果（達成目標）をそれぞれ具体的に記載してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

(5) 国際共同研究の実施に向けた準備状況

本国際共同研究を推進する基盤となる、研究開発代表者自身（及び必要に応じて研究開発分担者等）のこれまでの研究の経緯と成果、研究開発提案を支持する予備的な知見やデータについて具体的に記載してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

(6) 国際共同研究の優位性

関連分野の国内外の研究の現状や動向を踏まえて、本国際共同研究の世界の中での位置付け、優位性を記載してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

(7) 国際共同研究の実施により得られる波及効果

本国際共同研究の実施により将来実現することが期待される、科学技術イノベーション創出、医療シーズ創出・社会貢献、知的財産の取得・活用等を、想定し得る範囲で記載してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

# ３．実施体制

※この項目は、以下の観点で評価します。

〇実施体制（研究の目的や成果の創出を見据えたチーム構成になっているか/研究参加者の多様性への考慮がなされているか）

## （１）日本側チームの研究者　(Researchers in Japanese Team)

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 役割 | 氏名 | 機関名および部署名 | 役職 | 専門分野 |
| 研究開発代表者 |  |  |  |  |
| 研究参加者 |  |  |  |  |
| 研究参加者 |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
| 研究開発分担者 |  |  |  |  |
| 研究参加者 |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

※研究開発分担者：日本側研究参加メンバーのうち、日本国内の大学や研究機関等に所属している研究者で、研究開発代表者と異なる機関に所属し、自身の所属機関において委託研究費を受領し執行する研究者、または研究開発代表者と同じ機関に所属し、分担研究開発項目の代表として研究を進める予定の研究者が該当。

※必要に応じて、行を増やしてください。

## （２）相手国側チームの研究者　(Researchers in Counterpart Team)

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **Role** | **Name** | **Organization, Department** | **Title** | **Area of Expertise** |
| Principal Applicant |  |  |  |  |
| Co-Applicant |  |  |  |  |
| ・・・・ |  |  |  |  |
| ・・・・ |  |  |  |  |
| Early Career Researcher (ECR) |  |  |  |  |
| ・・・・ |  |  |  |  |
| ・・・・ |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

※本国際共同研究で研究開発を実施する研究開発代表者（PA）、相手国側分担者等（Co-Applicant）を含む相手国側研究者および人材交流の対象となる相手国側研究者（ECR）等を記載。

※必要に応じて、行を増やしてください。

注意：

・AMEDは相手国側研究機関と委託研究開発契約を結びません。

・相手国側研究者の日本への渡航費用や交流費および日本国内で実施する研究はAMEDの委託研究開発費の対象です。

・原則、相手国側チームが相手国内で実施する研究活動費はAMEDの委託研究開発費の対象外です。

# ４．研究業績

■「研究開発代表者」「研究開発分担者」「相手国側研究代表者」および「相手国側研究分担者」のORCIDまたはresearchmapのページのリンクを貼り付けてください。（ORCID IDまたはresearchmapをお持ちでない場合は、例えば、Publons、Google Scholarの研究者情報ページのリンクを貼り付けてください）。

■「研究開発代表者」及び「研究開発分担者」および「相手国側研究代表者」ごとに、それぞれ学術雑誌等に発表した論文・著書のうち、主なもの（概ね一人につき10編程度）を選択し、直近年度から順に記載してください。また、この提案課題に直接関連した論文・著書については、「●」を付してください。

■上記のうち、Top10%国際共著論文を明記してください。使用するデータベースやTop10％の定義方法、Top10％論文であることを認識できるエビデンスを明示してください。

■上記のうち、本提案に関連する論文3編に関しては、必要に応じて発表した論文にて明らかにしたことや研究提案者の貢献などアピールするポイントを簡潔に記載してください。

■過去10年間における主要な国際会議における基調講演・キーノート講演を記述してください。記述にあたっては、当該研究業績を同定するに十分な情報を記載してください（国際会議名、開催場所、日付等）。

※本提案に関連する国際会議3件に関しては、必要に応じて研究提案者の貢献などアピールするポイントを簡潔に記載してください。

■過去10年間における国際人材交流の実績（若手研究者等の派遣や相手国側からの招聘、シンポジウムの開催等）及び交流による成果を記述してください。実績を記述する際には、人数や滞在期間、場所などの具体的な内容を含めてください。

**（1）研究開発代表者　○○　○○**

URL：<https://www>.・・・・・・

＜論文・著書＞

●M.Marusankaku, J.Aaaa, H.Bbbbb, A.Ccccc, Treatment of Hepatic……, Nature, 2020 , 1,10-20

M.Marusankaku, T.Aaaa, A.Bbbbb, T.Ccccc, Risk factors for Fungal…, Nature, 2019, 2,17-26

＜Top10%国際共著論文＞

●M.Marusankaku, J.Aaaa, H.Bbbbb, A.Ccccc, Treatment of Hepatic……, Nature, 2020 , 1,10-20

M.Marusankaku, T.Aaaa, A.Bbbbb, T.Ccccc, Risk factors for Fungal…, Nature, 2019, 2,17-26

データベース：

定義方法：

アピールするポイント：

＜基調講演・キーノート講演＞

●M.Marusankaku, J.Aaaa, H.Bbbbb, A.Ccccc, Treatment of Hepatic……, ・・・・・Conference, 2021,Tampa, USA

アピールするポイント：

＜国際人材交流実績 ＞

**（2）研究開発分担者　○○　○○**

URL：<https://www.・・・・・・>

＜論文・著書＞

●M.Kakukaku, T.Dddd, A.Eeee, T.Ffff, Study on Hepatitis…………, Nature, 2020,12,32-40

M.Kakukaku, T. Dddd, A. Eeee, T.Ffff, Study on Malaria………, Nature, 2019,10,45-54

＜Top10%国際共著論文＞

●M.Marusankaku, J.Aaaa, H.Bbbbb, A.Ccccc, Treatment of Hepatic……, Nature, 2020 , 1,10-20

M.Marusankaku, T.Aaaa, A.Bbbbb, T.Ccccc, Risk factors for Fungal…, Nature, 2019, 2,17-26

データベース：

定義方法：

アピールするポイント：

＜基調講演・キーノート講演＞

●M.Marusankaku, J.Aaaa, H.Bbbbb, A.Ccccc, Treatment of Hepatic……, ・・・・・Conference, 2021,Tampa, USA

アピールするポイント：

＜国際人材交流実績 ＞

**（3）相手国側研究代表者　○○　○○**

URL：<https://www.・・・・・・>

＜論文・著書＞

●M.Marusankaku, J.Aaaa, H.Bbbbb, A.Ccccc, Treatment of Hepatic……, Nature, 2020 , 1,10-20

M.Marusankaku, T.Aaaa, A.Bbbbb, T.Ccccc, Risk factors for Fungal…, Nature, 2019, 2,17-26

＜Top10%国際共著論文＞

●M.Marusankaku, J.Aaaa, H.Bbbbb, A.Ccccc, Treatment of Hepatic……, Nature, 2020 , 1,10-20

M.Marusankaku, T.Aaaa, A.Bbbbb, T.Ccccc, Risk factors for Fungal…, Nature, 2019, 2,17-26

データベース：

定義方法：

アピールするポイント：

＜基調講演・キーノート講演＞

●M.Marusankaku, J.Aaaa, H.Bbbbb, A.Ccccc, Treatment of Hepatic……, ・・・・・Conference, 2021,Tampa, USA

アピールするポイント：

＜国際人材交流実績 ＞

（Researchmapのテキスト出力を貼り付けた例）

Non-negligible collisions of alkali atoms with background gas in buffer-gas-free cells coated with paraffin

Applied Physics B-Lasers and Optics 122(4) 81-1-81-6 2020年3月

Laser frequency locking with 46 GHz offset using an electro-optic modulator for magneto-optical trapping of francium atoms

Applied Optics 55(5) 1164-1169 2020年2月

Atomic spin resonance in a rubidium beam obliquel

**（4）相手国側研究分担者　○○　○○**

URL：<https://www.・・・・・・>

＜論文・著書＞

●M.Marusankaku, J.Aaaa, H.Bbbbb, A.Ccccc, Treatment of Hepatic……, Nature, 2020 , 1,10-20

M.Marusankaku, T.Aaaa, A.Bbbbb, T.Ccccc, Risk factors for Fungal…, Nature, 2019, 2,17-26

＜Top10%国際共著論文＞

●M.Marusankaku, J.Aaaa, H.Bbbbb, A.Ccccc, Treatment of Hepatic……, Nature, 2020 , 1,10-20

M.Marusankaku, T.Aaaa, A.Bbbbb, T.Ccccc, Risk factors for Fungal…, Nature, 2019, 2,17-26

データベース：

定義方法：

アピールするポイント：

＜基調講演・キーノート講演＞

●M.Marusankaku, J.Aaaa, H.Bbbbb, A.Ccccc, Treatment of Hepatic……, ・・・・・Conference, 2021,Tampa, USA

アピールするポイント：

＜国際人材交流実績 ＞

（Researchmapのテキスト出力を貼り付けた例）

Non-negligible collisions of alkali atoms with background gas in buffer-gas-free cells coated with paraffin

Applied Physics B-Lasers and Optics 122(4) 81-1-81-6 2020年3月

Laser frequency locking with 46 GHz offset using an electro-optic modulator for magneto-optical trapping of francium atoms

Applied Optics 55(5) 1164-1169 2020年2月

Atomic spin resonance in a rubidium beam obliquel

# ５．実施計画（国際共同研究）

■10.5ポイント以上の文字等を使用して、本説明文を除き４ページを目処に記載してください。

■国際共同研究計画を遂行するための研究体制について、「研究開発代表者」「研究開発分担者」「研究協力者」および「相手国側研究代表者」「相手国側研究分担者」等の具体的な役割を明確に記載してください。

■（１）国際共同研究全体の計画には、全研究開発期間における各研究開発項目の位置づけや相互の関係性など、共同研究全体の進め方が分かるように記載してください。

■（２）年次計画には、各研究開発項目の担当者、役割、年度毎の実施内容、研究方法を具体的に記載してください。研究開発項目は必要に応じて追加してください。

■計画は「研究開発の主なスケジュール」と整合するように記載してください。また、研究開発項目ごとに記載してください。

※この項目は、以下の観点で評価します。

○計画の妥当性（全体計画の目標と計画は明確であるか/年度ごとの計画は具体的なもので、かつ実現可能であるか/日本側研究チームと相手国側研究チームの役割分担は明確で研究期間を通して実現可能な計画となっているか）

○実施体制（日本側研究チーム構成は事業目的の達成や成果の創出を見据えた体制となっているか。研究交流を担う研究参加者が含まれているか。エフォートは適当であるか。多様性への考慮がなされているか。）

○事業で定める項目（研究交流および共同研究は両国において対等な計画となっており、また相互に裨益するものであるか。片方が他方の隷属的な関係となっていないか）

（１）国際共同研究全体の計画

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

（２）各研究開発項目の年度計画：

＜担当者＞

①研究開発代表者：氏名（○○○大学、○○分野　教授）

②研究開発分担者：氏名（○○○大学、○○分野　教授）

・・・・

⑤相手国側研究代表者：氏名（●●●大学、●●分野　教授）

⑥相手国側研究分担者：氏名（●●●大学、●●分野　教授）

・・・・

1. 研究開発項目：○○関連遺伝子発現解析＜担当者：①②＞

・○○○○○○○○・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・。

・○○○○○○○○・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・。

令和７年度：

令和８年度：

令和９年度：

令和１０年度～令和１２年度：

1. 研究開発項目：○○モデル動物の開発と検証＜担当者：①⑤＞

・○○○○○○○○・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・。

・○○○○○○○○・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・。

令和７年度：

令和８年度：

令和９年度：

令和１０年度～令和１２年度：

# ６．実施計画（国際頭脳循環等の促進に向けた取り組み）

■本項目では、以下2点について10.5ポイント以上の文字等を使用して、本説明文を除き４ページを目処に記載してください。

（１）国際ネットワーク構築・拡大のための計画

■本プログラムでは、国際的なトップ研究コミュニティの中に入り込み、安定的にそのネットワークを維持しつつ最新の研究開発活動に関与することを目的としています。国際的なトップ研究コミュニティの構築・参画・発展を目的として、本提案を通して国際的ネットワークを構築・拡大するための具体的な計画を記述してください。

■下記を必ず含めて記述してください。

○最終的にどのような国際的トップコミュニティへの参画を狙うのか、またはどのような国際的なトップコミュニティを作っていくのか、又は既に国際的なトップ研究コミュニティに参画している場合は、今後トップ研究コミュニティをどのように発展させていくことを目標とするのか記述してください。

○上記を踏まえて、本課題では課題終了時に具体的にどのようなネットワークが構築・拡大されている状態を目指すのか記述してください。

（２）国際頭脳循環等の促進に資する次世代研究者の人材育成計画

■国際頭脳循環を促進し国際的なトップ水準の研究機会を次世代研究者等へ提供するなど次世代のトップ研究者になることが期待される研究者を育成するための具体的な計画を記述してください。

■次世代研究者等の育成に関しては、下記を計画に盛り込むことを必須とします。

○次世代研究者等1名以上を海外に原則1年程度以上派遣すること

○相手国側から研究者等を招聘すること

また、上記に関する計画は、対象人数や期間、渡航先・招聘先などを含む渡航・招聘にかかる具体的な研究計画および交流計画、渡航先・招聘先での受入体制、期待される成果等を必ず記載してください。

■６．（３）に国際頭脳循環等の促進に向けた計画のスケジュールを記載してください。

■下記を必ず含めて記述してください。

○本プログラムでは国際頭脳循環を促進し国際的なトップ水準の研究機会を若手研究者等へ提供するなど次世代のトップ研究者になることが期待される次世代研究者の育成を目的としています。本目的を踏まえ、今までどのような方針・方法で若手研究者等の育成を実施し、その結果どのような成果があったか具体的に記述してください。

○今までの若手研究者等の育成実績を踏まえ、本提案を通してどのような次世代の研究者等が育成されることを目指すのか目標を記述してください。

※この項目は、以下の観点で評価します。

○事業趣旨等との整合性（目標とする国際的なトップ研究コミュニティが明確に設定されており、事業趣旨に合致するものであるか/これまでの国際頭脳循環等を通した次世代研究者等の育成実績を踏まえて、適切な育成目標が設定されているか）

○計画の妥当性（国際ネットワーク構築・拡大に向けた計画は適切か/目標とする国際的なトップ研究コミュニティの構築・参画・発展を目的として、適切で具体的かつ実現可能な計画が立てられているか）

○実施体制（研究開発代表者および相手国側研究代表者は国際トップサークルにおける研究実績、トップ研究コミュニティにおける交流実績、若手研究者等の人材育成実績を有しているか。）

○計画の妥当性（国際頭脳循環の促進に資する次世代のトップ研究者の育成戦略は適切であるか/規模に応じて適切な数の研究者が渡航あるいは招聘される計画となっているか/滞在先での役割や期間等が具体的であり、研究機関の受け入れおよび支援体制は整っているか）

○事業で定める項目（研究開発終了後も国際的なネットワークとして継続・拡大することが期待できるか/研究開発終了後もトップ研究コミュニティにおいて人材育成の継続が期待できるか）

## （１）国際ネットワーク構築・拡大のための計画

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

## （２）国際頭脳循環等の促進に資する次世代研究者の人材育成計画

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

## （３）国際頭脳循環等の促進に向けた計画

■委託研究期間中の国際頭脳循環等の促進に向けた計画および実施期間または時期を記載してください。

■対象者の渡航時期および招聘時期がわかるように記載してください。未定の場合は、「研究員A」「博士A」などと記入してください。

■人材交流、研究交流のためのワークショップの計画および実施時期を記載してください。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 内容 | 氏名・役職 | １年度目 | ２年度目～３年度目 | | ４年度目～６年度目 | | |
| R7年度 | R8年度 | R9年度 | R10年度 | R11年度 | R12年度 |
| (1) 渡航計画 | 研究者A  博士A  ポスドクA |  |  | |  | | |
| (2) 招聘計画 | 博士B  ポスドクB |  |  | |  | | |
| (３) 交流イベント | 主催者、機関名 |  | 【開催地、年月】  【開催地、年月】 | | 【開催地、年月】 | | |

# ７．実施体制図



■代表研究機関、分担研究機関の組織（所属機関と主たる研究場所が異なる場合については、主たる研究場所についても記載）相手国の共同研究機関を含め、体制、連携、協力体制等について体制図を記載してください。各機関の役割がわかるように記載してください。また、研究開発課題の運営・推進及び進捗管理等の体制や方法について記載してください。

■下記の図は例示として画像データで貼り付けてありますので、提案書作成時には削除のうえ、適切なソフトで作られた体制図を下に貼り付けてください。

# ８．研究開発の主なスケジュール

■目標達成に向けて取り組むべき研究開発項目を挙げ、実施期間を記載してください。

※研究開発項目名は、「５．実施計画（国際共同研究）」の研究開発項目名と合わせてください。

■項目別のスケジュールや担当者がわかるように記載してください。

■別途Excelで作成した表を貼り付けていただいてもかまいません。なお、PDF化したときに矢印等がずれてしまうことがありますので、PDF化後に必ずご確認ください。

■研究開発開始日が令和8年1月1日の場合、最初の3ヶ月の計画を第1年度（R7年度）に記載してください。また、上記の場合、第6年度（R12年度）の12月31日までの計画を記載してください。

**＜担当者＞**

①研究開発代表者：氏　名（○○○大学）

②研究開発分担者：氏　名（○○○機構）

③研究開発分担者：氏　名（(株)○○○）

・・・・

⑤相手国側研究代表者：Name（Affiliation）

⑥相手国側分担研究者：Name（Affiliation）

・・・・

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究開発項目 | 担当者  氏名 | １年度目  （R7年度） | ２年度目  （R8年度） | ３年度目  （R9年度） | ４年度目  （R10年度） | ５年度目  （R11年度） | ６年度目  （R12年度） |
| （1） 〇〇関連遺伝子発現解析  ・アッセイ系の確立  ・発現データ解析 |  |  |  |  |  |  |  |
| （2） ○○モデル動物の開発と検証 |  |  |  |  |  |  |  |
| （3） |  |  |  |  |  |  |  |
| （4） |  |  |  |  |  |  |  |
| （5） |  |  |  |  |  |  |  |
| （6） |  |  |  |  |  |  |  |

# ９．経費内訳

## （１）各年度別経費内訳

* 国内の経費のみを記載してください。
* 記入用シートを追加して【代表機関】【分担機関】と明記してください。
* 研究期間は契約締結日から６０ヶ月とします。令和８年１月１日が初年度の契約日の場合、令和１２年１２月３１日までとなります。
* 日本側経費の予算総額は上限3.8億円となります（間接経費を含まない）。年度毎の予算の上限はありませんが、総額を超えないように調整してください。
* 日本側直接経費の50％以上を国際頭脳循環のための交流活動費（旅費・人件費・活動費・イベント費等）として計上してください。
* 相手国側研究者が日本で活動する際の経費は、国内の頭脳循環のための経費として計上可能です。
* 経費負担についてあらかじめ相手国側研究機関と事前に取り決めを交わすようお願いいたします。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 大項目 | | 中項目 | R7年度 | R8年度 | R9年度 | R10年度 | R11年度 | R12年度 | 計 |
| 直  接  経  費 | 1.物品費 | 設備備品費 |  |  |  |  |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |  |  |  |  |
| 2.旅費 | 旅費 |  |  |  |  |  |  |  |
| 3.人件費  ・謝金 | 人件費※ |  |  |  |  |  |  |  |
| 謝金 |  |  |  |  |  |  |  |
| 4.その他 | 外注費 |  |  |  |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |  |  |  |
| 小計 | |  |  |  |  |  |  |  |
| 間接経費  （上記経費の30%目安） | | |  |  |  |  |  |  |  |
| 合計 | | |  |  |  |  |  |  |  |

（単位：千円）

* 研究力向上のための制度（PI人件費）の利用を希望する場合は、以下の条件を満たしていることを確認の上、以下の項目を記載ください。（希望しない場合は、記載不要です。）

① 直接経費にPI の人件費（の一部）を計上することについて、PI 本人が希望していること。

② PI が所属する研究機関において、確保した財源を研究力向上のために適切に執行する体制が整備されていること。

③ PI が所属する研究機関において、研究の業績評価が処遇へ反映されるなどの人事給与マネジメントを実施していること。

研究力向上のための制度（PI人件費）とは？：<https://www.amed.go.jp/keiri/youshiki_itaku.html#i00-01>

対象者氏名（この研究でのエフォート率、申請額）：○○○○（○％、約○○千円/年）

期待される効果： ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

■研究力向上のための制度（PI人件費）に関する記載も審査の対象となります。

■当該制度を利用する場合は、提案時の記載が必須です。

## （２）国際的ネットワーク構築・拡大や国際頭脳循環等の促進に資する次世代研究者育成に係る費用

※上記内訳のうち、国際的ネットワークの構築・拡大や、国際頭脳循環等の促進に資する次世代研究者等の育成を目的として使用予定の費用総額を記載してください（トップ研究者・次世代研究者間のコネクション強化を目的としたWS開催や渡航費、渡航後に発生する費用等が含まれます）。

※使用予定の直接経費総額の５割以上を国際的ネットワークの構築・拡大や、国際頭脳循環等の促進に資する次世代研究者等の育成を目的とした使用用途としてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | **項目** | **金額（千円）** |
| 直接経費 | １.物品費（設備備品費・消耗品） |  |
| ２.旅費 |  |
| ３.人件費・謝金 |  |
| ４.その他（外注費・その他） |  |
| 小計 |  |
| 間接経費（直接経費の30%） | |  |
| 頭脳循環経費の総額 | |  |
| 全体経費の総額 | |  |

* 国際頭脳循環のための交流活動費（旅費・人件費・活動費・イベント費等）として計上してください。
* 相手国側研究者が日本の研究機関にて研究活動を実施する場合は、国際頭脳循環のための経費として計上可能です。
* 相手国側研究者の日本への招聘費用は国際頭脳循環のための経費として計上可能です。
* 相手国側研究者の相手国における研究活動費は相手国側研究機関への負担を求めてください。
* 経費負担についてあらかじめ相手国側研究機関と事前に取り決めを交わすようお願いいたします。

# １０．研究開発代表者及び研究開発分担者に関する情報

※国内研究者の情報のみを記載

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 氏名 | 所属機関※1 | 現在の専門 | 令和7年度  研究経費※２  （千円） | エフォート  （％） |
| 生年月（年齢:令和7年4月1日時点） | 所属部署（部局）※1 | 学位（最終学歴）  学位取得年 |
|  | 役職※1 | 役割分担 |
| 研究開発代表者 | ○○　○○ | ○○○○大学 | △△△ | X,XXX | XX |
| S49/11（XX） | △△△学部△△△学科 | △△博士（○○大学）H14年 |
|  | △△△ | 研究の統括 |
|  |  | （主たる研究場所）※1  △□大学 |  | X,XXX | XX |
| △△△学部△△△学科 |
| □□□ |
| 研究開発分担者 | □□　○○ | △□大学 | □○□ | X,XXX | XX |
| S50/11（XX） | △△△学部△△△学科 | ○○博士（□△大学）  H15年 |
|  | □□□ | データの解析 |
|  |  | （主たる研究場所）※1  △□大学 |  | X,XXX | XX |
| △△△学部△△△学科 |
| □□□ |
| 研究開発分担者 |  |  |  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 計　2名 | | | 研究開発経費合計 | X,XXX |  |

※1　所属機関と主たる研究場所が異なる場合は、主たる研究場所となる研究機関、所属部署（部局）及び役職も記載してください。

※2　研究経費については、直接経費を記載してください。

# １１．研究費の応募・受入等の状況・エフォート

■本研究開発課題の研究開発代表者および研究開発分担者の応募時点における、（1）応募中の研究費(国内外を問わず、競争的研究費のほか、民間財団からの助成金、企業からの受託研究費や共同研究費等の研究資金を含む。以下同じ。)、（2）採択されている研究費（実施中の研究費・実施予定の研究費）、（3）その他の活動について、次の点に留意し記載してください。なお、複数の研究費を記載する場合は、線を引いて区別して記載してください。

■「エフォート」欄には、年間の全仕事時間を100％とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の配分率（％）を記載してください。

■「応募中の研究費」欄の先頭には、本研究開発課題を記載してください。

## ●研究開発代表者：

## （1）応募中の研究費（令和７年６月２０日時点）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 研究開発課題名  （研究開発代表者氏名） | 役割  （代表・分担の別) | 令和7年度の研究経費（直接経費）  [期間全体の額]  （千円） | エフォート(%) | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由 |
| 【本研究開発課題】  申請者本人への配分予定額（直接経費）  （R7～R12） | ○○と△△の相関に関  する実験的研究  （○○○○） | 代表 | 6,000  [18,000] | 20 | （総額　21,000千円）\*  研究開発課題全体（直接経費）の総額  例）（6,000＋1,000（分担者））×3年 |
| 科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究（R7～R8・日本学術振興会） | ○○と△△の□□への依存性に関する調査研究（○○○○）  研究開発期間全体で申請者本人が使用する総額（直接経費）（予定額） | 代表 | 3,000  [9,000] | 10 | 本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。  （総額　9,000千円）\* |
| 令和7年度○○財団研究助成金（R5・○○財団） | 上欄と同様に研究開発代表者の場合、総額を記載  ●●と□□の研究  （○○○○） | 分担 | 1,000  [1,000] | 5 | 本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 |

## （2）採択されている研究費（実施中の研究費・実施予定の研究費）（令和７年６月２０日時点）

（注：本研究開発課題の研究開始年度前に終了する研究費は含みません。）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 研究開発課題名  （研究開発代表者氏名） | 役割  （代表・分担の別) | 令和７年度の研究経費（直接経費）  [期間全体の額]  （千円） | エフォート(%) | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由 |
| 令和3年度○○財団研究助成金（R3・○○財団 | ●●と□□の研究  （○○○○） | 代表 | 1,000  [1,000] | 5 | 本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。  （総額　5,000千円）\* |
| ○○事業（R3～R5・AMED） | ●●と□□の研究  （○○○○） | 分担 | 1,000  [5,000] | 10 | 本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 |

　\*　（　）内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

## （3）その他の活動

エフォート：　50　％

（1）（2）以外の「その他の活動」のイメージ（考え方の整理）

教育　　　　　　　　　エフォート：　20　％

診療　　　　　　　　　エフォート：　10　％

社会サービス　　　　　エフォート：　 5　％

その他（学内事務等）　エフォート：　15　％

# １２．これまでに受けた研究費とその成果等

■本欄には、研究開発代表者及び研究開発分担者がこれまでに受けた研究費（所属機関より措置された研究費、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費等。なお、現在受け入れている研究費も含む。）による研究成果等のうち、本研究の立案に生かされているものを選定し、（１）【AMED事業】と（２）【それ以外の研究費】に分けて、次の点に留意し記載してください。

■AMED事業とそれ以外の研究費は区別して記載してください。

■それぞれの研究費ごとに、資金制度名、期間（年度）、課題名、代表者又は分担者の別、研究経費（直接経費）を記載してください。また、研究成果及び中間・事後評価（当該研究費の代表者のみ。）結果も簡潔に記載してください。

（記載項目）

資金制度名：

期間（年度）：H 年度～H 年度

課題名：

代表者又は分担者の別：

研究経費（直接経費）： 千円

研究成果及び中間・事後評価結果：

## ●研究開発代表者：

（1）【AMED事業】

・AMED　○○事業（A）、H27～H29、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

・AMED　○○事業（B）、H29～R1、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

（2）【それ以外の研究費】

・基盤研究（B）、H26～H28、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

## ●研究開発分担者：

（1）【AMED事業】

・AMED　○○事業（A）、H27～H29、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

・AMED　○○事業（B）、H29～R1、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

（2）【それ以外の研究費】

・基盤研究（B）、H26～H28、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

# １３.　 本研究開発課題を実施する上で特に考慮すべき事項等

■以下の項目は、医療分野の研究開発において重要な視点であるため、AMED事業の研究開発課題において記載を求めるものです。なお、記載内容は今後のAMED事業運営に資する研究動向の分析等に利用するとともに、研究開発課題が特定されない形で分析結果を公開する場合があります。

1. **医学研究・臨床試験における患者・市民参画（PPI：Patient and Public Involvement）PPIについて**

※記載に係るポイントは、AMED公式ウェブサイトをご参照ください

　　　AMED研究への患者・市民参画：<https://www.amed.go.jp/ppi/guidebook.html>

1. **倫理面への配慮**

|  |  |
| --- | --- |
| 1. 遵守すべき研究に関係する指針等 | |
| 下記の法令・指針等「該当なし」  　臨床研究法  　医薬品の臨床試験の実施の基準に関する省令  　医療機器の臨床試験の実施の基準に関する省令  　再生医療等の安全性の確保等に関する法律  　遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律  　人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針  　遺伝子治療臨床研究に関する指針  　研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針  　その他の指針等（指針等の名称：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | |
| 2. 本研究開発期間中に予定される臨床研究の有無 | |
| 有　　　無  「有」の場合は、予定される内容及び倫理委員会の通過状況を記載してください。 | |
| 対象疾患 | 予定される内容、実施時期、倫理委員会の通過状況 |
| △△感染症 | △△の疫学調査、R6年XX月～XX年XX月、  RX年X月に●●●病院における倫理委員会を通過（番号：IRB-YYYY） |

1. **キーワード（疾患名以外、10単語以内）**

提案内容を示す、適切かつ重要と思われる単語を記載してください。(例：研究手法、使用技術、医薬品モダリティ、生命現象、対象部位（臓器、組織、細胞等）、対象集団（妊産婦、AYA世代など）、実験動物等、の具体名)

1.△△計測　　2.○○合成阻害剤　　3.　．．．．．．

1. **対象疾患（10個以内）**

研究の主題に近いものから順番に、主要な疾患名を10個以内で記載してください。

なお、未診断疾患が対象の場合は「未診断疾患」、具体的な対象疾患が無い又は未定の場合は「対象なし」と記載してください。

1.△△感染症　　2.○○病　　3.□□症候群　．．．．．．

# （別紙１）機関長からの承諾書

年　月　日

承　諾　書

国立研究開発法人日本医療研究開発機構　御中

　　 （研究開発代表機関）

　 機関名

　 機関長名 　　　 公印（省略可）

先端国際共同研究推進プログラムに提案しています、下記の研究開発提案について、採択された場合には、機関として国際共同研究の支援を行うことを確認します。具体的には、以下について機関として執行します。

記

○研究開発課題名　　　　　「　　　　　　　　　　　　　　　　　　　」

○研究開発代表者名

・相手国側研究機関との国際共同研究の実施に関する合意文書の取り交しの支援

・相手国側研究機関との合意文書の内容の遵守及び事業契約の履行ならびに経費の執行管理

・共同研究体制を構築する場合の研究代表機関としての責務の遵守

・若手研究者育成の一環として大学院生や学部生の海外派遣に関する安全管理及び責任体制の構築

・相手国側研究者を研究機関にて受け入れる際の安全管理及び責任体制の構築

・その他、国際共同研究を実施するために必要な手続き等の支援

・研究実施期間中の研究代表者を中心とした研究体制の確保（下記内容にも必ずお答えください。）

|  |  |
| --- | --- |
| 研究実施期間中に研究開発代表者が  定年等を迎える予定である。 | （はい）とお答えになる場合、組織内で研究実施体制を確保するための方策を明記してください。 |
| （　はい　/　いいえ　） |

# （別紙２）安全保障貿易管理に係るチェックシート

**安全保障貿易管理に係るチェックシート**

|  |  |
| --- | --- |
| **研究開発代表者名**： |  |
| **研究開発課題名**： |  |

公募要領の「Ⅱ-5.1.2 安全保障貿易管理について（海外への技術漏洩への対処）」を参照し、下記１）～４）について確認・記載してください。**なお、本紙の内容は相手国側資金配分機関へ共有する可能性がありますが、国際共同研究提案の採否には一切影響しません。**

**１）「貨物等省令第２条の２　第１項」について**

* CIHRへ提出する提案書本文に、「貨物等省令第２条の２　第１項」における以下の物品に関する研究が含まれているかを確認してください。
* その上で、各項目について「含む」もしくは「含まない」のいずれか該当する方の「□」を「■」に書き換えてください。
* 含む場合には、該当する物品名に下線を引き、提案書中の当該物品の設計、製造（※）に関する記載の有無について該当する方の「□」を「■」に書き換え、記載がある場合は、提案書中の項目番号を記入してください。

※設計とは：一連の製造過程の前段階のすべての段階（設計研究、設計解析、設計概念、プロトタイプの製作及び試験、パイロット生産計画、設計データ、設計データを製品に変化させる過程、外観設計、総合設計、レイアウト等）

製造とは：すべての製造過程（建設、生産エンジニアリング、製品化、統合、組立/アセンブリ、検査、試験、品質保証等）

貨物等省令第２条の２　第１項※

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 物品名 | 左記物品に関する研究 | 提案書中の左記研究に関する設計、製造に関する記載 |
| 第一号 | ウイルス（ワクチンを除く。）であって、アフリカ馬疫ウイルス、アフリカ豚熱ウイルス、アンデアン・ポテト・ラテント・ウイルス、アンデスイルス、エボラウイルス属の全てのウイルス、黄熱ウイルス、オムスク出血熱ウイルス、オロポーチウイルス、ガナリトウイルス、キャサヌール森林病ウイルス、牛疫ウイルス、クリミア・コンゴ出血熱ウイルス、口蹄疫ウイルス、高病原性鳥インフルエンザウイルス（Ｈ五又はＨ七のＨ抗原を有するものに限る。）、ＳＡＲＳコロナウイルス、再構成１９１８年インフルエンザウイルス、サビアウイルス、サル痘ウイルス、小反芻獣疫ウイルス、シンノンブレウイルス、水疱性口内炎ウイルス、西部ウマ脳炎ウイルス、セントルイス脳炎ウイルス、ソウルウイルス、ダニ媒介脳炎ウイルス（極東型に限る。）、チクングニアウイルス、チャパレウイルス、跳躍病ウイルス、テュクロウイルス、痘瘡ウイルス、東部ウマ脳炎ウイルス、ドブラバーベルグレドウイルス、ニパウイルス、日本脳炎ウイルス、ニューカッスル病ウイルス、ハンタンウイルス、豚熱ウイルス、豚水疱病ウイルス、豚テシオウイルス、豚ヘルペスウイルス―１、フニンウイルス、ブルータングウイルス、ベネズエラウマ脳炎ウイルス、ヘンドラウイルス、ポテト・スピンドル・チュバー・ウィロイド、ポワッサンウイルス、マチュポウイルス、MERSコロナウイルス、マールブルグウイルス属の全てのウイルス、マレー渓谷脳炎ウイルス、ヤギ痘ウイルス、羊痘ウイルス、ラグナネグラウイルス、ラッサウイルス 、ランピースキン病ウイルス、リッサウイルス属のウイルス（狂犬病ウイルスを含む。）、リフトバレー熱ウイルス、リンパ球性脈絡髄膜炎ウイルス、ルヨウイルス又はロシオウイルス | **□含む**  （→該当する物品に下線を引き、右欄もチェックする）  **□含まない** | **□記載有**  （→記載のある項目の番号：　　　）  **□記載無** |
| 第二号 | 細菌（ワクチンを除く。）であって、アルゲンチネンス菌（ボツリヌス神経毒素産生株に限る。）、ウェルシュ菌（イプシロン毒素産生型のものに限る。）、ウシ流産菌、オウム病クラミジア、牛肺疫菌（小コロニー型）、コクシエラ属バーネッティイ、コレラ菌、志賀赤痢菌、炭疽菌、チフス菌、腸管出血性大腸菌（血清型Ｏ２６、Ｏ４５、Ｏ１０３、Ｏ１０４、Ｏ１１１、Ｏ１２１、Ｏ１４５及びＯ１５７）、発疹チフスリケッチア、バラチ菌（ボツリヌス神経毒素産生株に限る。）、鼻疽菌、ブタ流産菌、ブチリカム菌（ボツリヌス神経毒素産生株に限る。）、ペスト菌、ボツリヌス菌、マルタ熱菌、山羊伝染性胸膜肺炎菌Ｆ38株、野兎病菌又は類鼻疽菌 | **□含む**  （→該当する物品に下線を引き、右欄もチェックする）  **□含まない** | **□記載有**  （→記載のある項目の番号：　　　）  **□記載無** |
| 第三号、  第四号 | 毒素（免疫毒素を除く。）であって、アフラトキシン、アブリン、ウェルシュ菌毒素（アルファ、ベータ１、ベータ２、イプシロン又はイオタの毒素に限る。）、HT－２トキシン、黄色ブドウ球菌毒素（腸管毒素、アルファ毒素及び毒素性ショック症候群毒素）、ゴニオトキシン、 コノトキシン、ジアセトキシスシルペノール、志賀毒素、T－２トキシン、テトロドトキシン、ノジュラリン、パリトキシン、ビスカミン、ブレベトキシン、ボツリヌス毒素、ボルケンシン、ミクロシスチン又はモデシン、およびそのサブユニット | **□含む**  （→該当する物品に下線を引き、右欄もチェックする）  **□含まない** | **□記載有**  （→記載のある項目の番号：　　　）  **□記載無** |
| 第五号 | 細菌又は菌類であって、クラビバクター・ミシガネンシス亜種セペドニカス、コクシジオイデス・イミチス、コクシジオイデス・ポサダシ、コレトトリクム・カーハワイ、ザントモナス・アルビリネアンス、ザントモナス・オリゼ・パソバー・オリゼ、ザントモナス・シトリ・パソバー・シトリ、シンキトリウム・エンドビオチクム、スクレロフトラ・ライシアエ・バラエティー・ゼアエ、セカフォラ・ソラニ、チレチア・インディカ、バイポラリス・オリゼ、プクシニア・グラミニス亜種グラミニス・バラエティー・グラミニス、プクシニア・ストリイフォルミス、プセウドセルコスポラ・ウレイ、ペロノスクレロスポラ・フィリピネンシス、マグナポルテ・オリゼ又はラルストニア・ソラナセアルム・レース３及び次亜種２ | **□含む**  （→該当する物品に下線を引き、右欄もチェックする）  **□含まない** | **□記載有**  （→記載のある項目の番号：　　　）  **□記載無** |
| 第六号 | 遺伝子を改変した生物（意図的な分子操作によって核酸の塩基配列を生成し、又は改変されたものを含む。）であって次のいずれかを有するもの又は遺伝要素（染色体、ゲノム、プラスミド、トランスポゾン、ベクター及び復元可能な核酸断片を含む不活性化された組織体を含む。）であって次のいずれかの塩基配列を有するもの  イ　第一号に該当するものの遺伝子又はこれを翻訳した生産物  ロ　第二号又は前号に該当するものの遺伝子のうち、人、動物若しくは植物の健康に重大な危害を与えるもの（これを転写し又は翻訳した生産物を通じて危害を与えるものを含む。）又は病原性を付与し若しくは増強することができるもの（血清型Ｏ二六、Ｏ四五、Ｏ一〇三、Ｏ一〇四、Ｏ 一一一、Ｏ一二一、Ｏ一四五、Ｏ一五七その他の志賀毒素を産生する血清型をもつ大腸菌の核酸の塩基配列（志賀毒素又はそのサブユニットの遺伝要素を持つものに限る。）を有するもの以外のものを除く。）  ハ　第三号又は第四号に該当するもの | **□含む**  （→該当する物品に下線を引き、右欄もチェックする）  **□含まない** | **□記載有**  （→記載のある項目の番号：　　　）  **□記載無** |

※物品の詳細等については、経済産業省HPの安全保障貿易管理（https://www.meti.go.jp/policy/anpo/）を参照すること。

**２）「貨物等省令第２条の２　第２項」について**

* 提案書に、「貨物等省令第２条の２　第２項」における以下の物品に関する研究が含まれているかを確認してください。
* その上で、各項目について「含む」もしくは「含まない」のいずれか該当する方の「□」を「■」に書き換えてください。
* 含む場合には、提案書中の当該物品の設計、製造、使用（※）に関する記載の有無について該当する方の「□」を「■」に書き換え、記載がある場合は、提案書中の項目番号を記入してください。

※設計とは：一連の製造過程の前段階のすべての段階（設計研究、設計解析、設計概念、プロトタイプの製作及び試験、パイロット生産計画、設計データ、設計データを製品に変化させる過程、外観設計、総合設計、レイアウト等）

製造とは：すべての製造過程（建設、生産エンジニアリング、製品化、統合、組立/アセンブリ、検査、試験、品質保証等）

使用とは：設計、製造以外の段階（操作、据付、保守（点検）、修理、オーバーホール、分解修理等）

貨物等省令第２条の２　第２項（抜粋）※

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 物品名 | 左記物品に関する研究 | 提案書中の左記研究に関する設計、製造、使用に関する記載 |
| 第二号 | 発酵槽又はその部分品であって、次のいずれかに該当するもの  イ　使い捨て式以外の発酵槽又はその部分品であって、次のいずれかに該当するもの  　（一）内容積が２０リットル以上の密閉式の発酵槽であって、定置した状態で内部の滅菌又は殺菌ができるもの  　（二）（一）に該当する発酵槽に用いるように設計された培養容器であって、定置した状態で内部の滅菌又は殺菌ができるもの  　（三）（一）に該当する発酵槽に用いるように設計された制御装置であって、発酵装置を制御するための２以上のパラメーターを同時に監視及び制御をすることができるもの  ロ　使い捨て式の発酵槽又はその部分品であって、次のいずれかに該当するもの  　（一）内容積が２０リットル以上の密閉式の発酵槽  　（二）（一）に該当する発酵槽に用いるように設計された使い捨て培養容器の収容装置  　（三）（一）に該当する発酵槽に用いるように設計された制御装置であって、発酵装置を制御するための２以上のパラメーターを同時に監視及び制御をすることができるもの | **□含む**  （→右欄もチェックする）  **□含まない** | **□記載有**  （→記載のある項目の番号：　　　）  **□記載無** |
| 第七号 | 粒子状物質の吸入の試験に用いるように設計された装置であって、次のいずれかに該当するもの  イ　動物の全身を暴露することができる吸入室を有するものであって、吸入室の容積が１立方メートル以上のもの  ロ　１２以上のげっ歯類の動物又は２以上のげっ歯類以外の動物の鼻部を直接エアゾールを流動させて暴露することができるものであって、これに用いるように設計した動物を保定する密閉型のホルダーを有するもの | **□含む**  （→右欄もチェックする）  **□含まない** | **□記載有**  （→記載のある項目の番号：　　　）  **□記載無** |
| 第九号 | 核酸の合成又は核酸と核酸との結合を行うための装置であって、一部又は全部が自動化されたもののうち、一回の稼働で、連続した長さが一・五キロベースを超える核酸を五パーセント未満のエラー率で生成するように設計したもの | **□含む**  （→右欄もチェックする）  **□含まない** | **□記載有**  （→記載のある項目の番号：　　　）  **□記載無** |

※物品の詳細等については、経済産業省HPの安全保障貿易管理（https://www.meti.go.jp/policy/anpo/）を参照すること。

**３）「輸出令第１項（１４）」について**

* 提案書に、「輸出令第１項（１４）」における以下の物品に関する研究が含まれているかを確認してください。
* その上で、各項目について「含む」もしくは「含まない」のいずれか該当する方の「□」を「■」に書き換えてください。
* 含む場合には、提案書中の当該物品の設計、製造、使用（※）に関する記載の有無について該当する方の「□」を「■」に書き換え、記載がある場合は、提案書中の項目番号を記入してください。

※設計とは：一連の製造過程の前段階のすべての段階（設計研究、設計解析、設計概念、プロトタイプの製作及び試験、パイロット生産計画、設計データ、設計データを製品に変化させる過程、外観設計、総合設計、レイアウト等）

製造とは：すべての製造過程（建設、生産エンジニアリング、製品化、統合、組立/アセンブリ、検査、試験、品質保証等）

使用とは：設計、製造以外の段階（操作、据付、保守（点検）、修理、オーバーホール、分解修理等）

輸出令第１項（１４）※

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 物品名 | 左記物品に関する研究 | 提案書中の左記研究に関する設計、製造、使用に関する記載 |
| － | 軍用の化学製剤の探知若しくは識別のための生体高分子若しくはその製造に用いる細胞株又は軍用の化学製剤の浄化若しくは分解のための生体触媒若しくはその製造に必要な遺伝情報を含んでいるベクター、ウイルス若しくは細胞株  生体高分子：以下のいずれかに該当するものをいう。  イ　酵素  ロ　モノクロナール抗体、ポリクロナール抗体、抗イディオタイプ抗体  ハ　レセプター  生体触媒：生体化合物のうち特定の物質に結合し、分解を促進するものであって､人為的な選択又は遺伝子操作を経て生産されたものをいう｡  ベクター：遺伝物質を親細胞に組み込む媒介体をいう。 | **□含む**  （→右欄もチェックする）  **□含まない** | **□記載有**  （→記載のある項目の番号：　　　）  **□記載無** |

※物品の詳細等については、経済産業省HPの安全保障貿易管理（https://www.meti.go.jp/policy/anpo/）を参照すること。

**４）その他の技術について**

* 提案書に、外国為替令別表（前述の１）～３）で確認した項目と、第１６項を除く。）に該当するような技術（※）に関する記載があるかを確認し、該当する方の「□」を「■」に書き換えてください。
* 記載がある場合には、その該当箇所、該当していると考えられる理由、技術の内容等、該当する外国為替令別表の項番・項目、該当する貨物等省令の項番・項目を記載してください。

※外国為替令別表の詳細（貨物・技術のマトリクス表を参照）については、経済産業省HPから確認してください。（<https://www.meti.go.jp/policy/anpo/matrix_intro.html>）

※技術とは：貨物の設計、製造又は使用に必要な特定の情報を指す。

設計とは：一連の製造過程の前段階のすべての段階（設計研究、設計解析、設計概念、プロトタイプの製作及び試験、パイロット生産計画、設計データ、設計データを製品に変化させる過程、外観設計、総合設計、レイアウト等）

製造とは：すべての製造過程（建設、生産エンジニアリング、製品化、統合、組立/アセンブリ、検査、試験、品質保証等）

使用とは：設計、製造以外の段階（操作、据付、保守（点検）、修理、オーバーホール、分解修理等）

提案書類について：

|  |  |
| --- | --- |
| **研究開発提案書中に、外国為替令別表**（前述の１）～３）で確認した項目と、第16項を除く。）**に該当するような技術に関する記載があるか。** | **□ある　　□ない** |

技術に関する記載がある場合、下記も記入：

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 提案書中の該当箇所 | 該当していると考えられる理由、技術の内容等 | 外国為替令別表の該当部分 | | 貨物等省令の該当部分 | |
| 項番 | 項目 | 項番 | 項目 |
|  |  |  |  |  |  |